

全国高校「探究」キャンプ2022特別企画 この夏！「文学・言語学マイスター」になろう！！

今年度の筑波大学「全国高校「探究」キャンプ2022」では、文学・言語学のゼミが大変充実しています。

そこで！！

筑波大学人文社会系では、これらのゼミを三講座以上受講した人に「文学・言語学マイスター」の称号を授与することにいたしました。

☆マイスター認定者には、筑波大学人文系から、マイスター認定証が授与されます。(認定証は高校宛に送付されます。)

☆マイスター交流会(キャンプ終了後、マイスター認定者同士の楽しい交流会を開きます。)

AO入試にも使える！一生の思い出になる！友達に自慢できる！マイスター同士の友達もできる！

この夏はぜひ文学・言語学マイスターを狙ってください！！

📖対象ゼミ一覧📖

8/1(月): Creative English / Japanese Translation集中ゼミ

齋藤 一(英語圏文学)

比較文化学類の授業「専門英語Ⅱ-5」では、学生と一緒に、短歌や音楽を英語から日本語へ／日本語から英語へと「クリエイティブ」に翻訳しています。高校生のみなさんにも受講生に大人気のこの授業を体験してもらいます。例: Chaka Khan / Whitney Houston の名曲 "I'm Every Woman" はどう訳すか？／「花曇り
パスタを塩でゆでるのはパスタが泣いてもわからんように」をどう英語にする？

8/1(月): 一緒に考える不思議な言語学

文 昶允(ムン・チャンユン)(言語学・音声学・音韻論)

私たちが普段の生活で当たり前のように使っている日本語には、実は不思議さが潜んでいます。「50音図は本当に50音？」「ジとヂ、ズとヅはどう発音する？」「リリパットとブロブ、どちらが大きい？」…これらのようなさまざまな言語学的問いについて、みんなで一緒に考えてみましょう。

8/2(火): ことばと文化ゼミ—探究のタネを育てよう

井出 里咲子(言語人類学、社会言語学、ことばと文化)

筑波大学井出研究室(「ことばと文化ゼミ」)へようこそ。本ゼミは日常会話、SNSでのやりとり、外国語やことばが創る言説などなど、ことばって面白いと考える皆さんと共に創るゼミです。ゼミではグループワークをくり返しながら(ゲームも!)、対話的に探究のタネを育みます。ことばや人間社会、文化に関する「なぜ」や「もやもや」を抱えて参加してみてください。

8/3(水): 日本語の文法を考える

杉本 武(日本語学(文法論・意味論))

日本語の文法のトピックをいくつか選び、知識としてではなく、日本語の文法の仕組みを自ら考えて探り当てる。複数の教員でディスカッションしたのち、参加者にもディスカッションに加わってもらう。

8/4(木): 外国語文法の学習と習得: ヒトの言語能力とは

小野 雄一(第二言語習得論)

英文法の学習に苦勞している経験をお持ちではないのでしょうか。単に暗記すれば良いものもありますが、そもそも習得自体が難しい、あるいはほとんど無理とされているような文法現象も多数存在します。本講座では、ヒトの言語知識・言語能力に焦点を当てて、どうしてある文法現象はなかなか習得が難しいのか、どのように取り組めば良いのか、などの疑問について、最近の第二言語習得研究の成果をもとに講義と演習を行って参ります。

8/5(金): 古文・漢文はこうよむ

谷口孝介(和漢比較文学、菅原道真)

高校国語の科目としての「古典(古文・漢文)」について、何を指標として学び・考えればよいのか、学習指導要領をも見据えつつ、言語活動の一環という立場から考えてみます。

8/6(土): ことばあそびから日本語を考える

松崎 寛(言語学・音声学)

「言語学」というと堅苦しい感じがしますが、「早口言葉は何故言いにくい?」「どうすれば囁まずに発音できる?」「しりとりで絶対負けない方法は?」等の身近な話題から、日本語のしくみや外国語の発音学習等、様々な「探究」の糸口が見えてきます。いっしょにことばの不思議を探究しましょう。

8/19(金): 紫式部にファンレターを出そう

大倉浩(日本語史: 狂言を中心とした中世・近世の日本語の研究)

古文を読むだけでは物足りない、面白くないと思っている皆さん。自分で古文を書いてみませんか? 英語でも英作文の時間があるのですから、古文でも古文作文をしてみましょう。どんなふう to 書けば1000年前の日本人に通じるか考えることで、古文の違った面白さを発見できればよいと思っています。